令和４年６月１６日発行

進路室だより　文理選択 学校特徴 編

今回は２本立て
・文理選択について
・大学、短大、専門学校の特徴について

１．文理選択について

『将来、○○をしたい』⇒『文理選択』

①→②→③の順で考えていこう！
① 将来、○○という職で働きたい
② ①に向けて□□で△△を学びたいなぁ（大学・短大・専門学校）
③ ②に進学するためには、◇◇が必要だ!!（入試科目など）

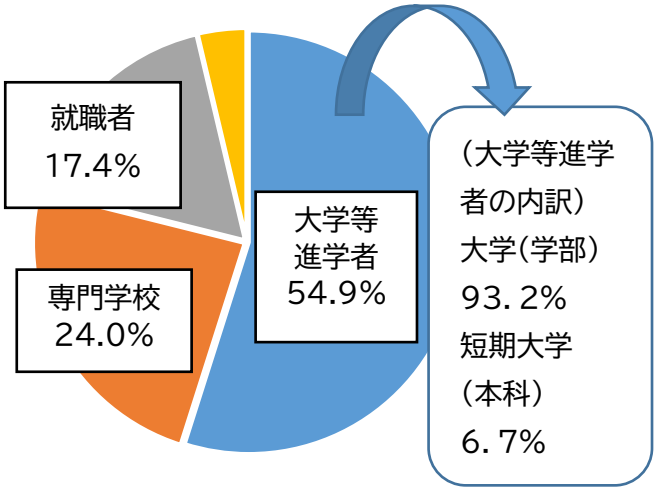
※「**国語や英語が苦手だから**...」、「**数学がいやだから**...」といった**安易な考えで文理選択**すると、いざ自分が進みたい分野が決まったときに必要な科目を履修していないことになり、**受験できない**ということになります。
大事なのは
「**将来どのような道に進みたいのかを考えた上で文理選択をする**」ということ。

２．高校卒業後の進路について

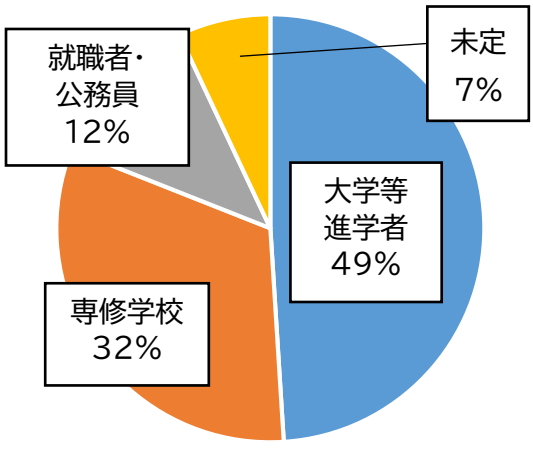
文部科学省「令和3年度　学校基本調査」によると、令和2年3月高校卒業者（全日制・定時制）の進路先は左下の通りです。全国における**大学・短期大学等への進学率は５４．９％**です。大学等進学者の内訳を見ると、大学の学部へ進学した者は約9割で、高校卒業者のほぼ半数が大学教育を受けるという状況になっています。また**女子の４年制大学への進学率が上昇**し、短期大学への進学者は年々減少しています。

右下は令和3年度本校卒業生の進路先です。

R2高校卒業後の進路（全国）



R3高校卒業後の進路（本校）



３．大学、短期大学、専門学校について

大学、短期大学、専門学校の一般的な特徴は以下の通りです。

	大学	短期大学	専門学校
学びと特徴	学術的・理論的な学問を学ぶとともに、**幅広く教養も**学ぶことができる。	幅広い教養を身につけるとともに、**職業や実際生活に役立つ能力**を育成する。	実践的な実習や演習を受けることができる。**職業に直結する知識や技術**を習得できる。
修業年数	4年または6年（医学部・薬学部など）	2年または3年	1～4年
卒業後と就職	大学卒の肩書き（学士）を得ることができる。また、大学院へ進学することができる。一般的に**初任給は高い**。	教養教育、専門教育、職業教育から資格取得に導く教育、就職支援まで**一貫した指導**を受けることができる。 資格取得後の就職に強く、大学編入も可能である。	専攻している分野と**関係のある仕事や関わりのある職**へ就ける。
学費(卒業まで)＊平均	国立約**２４３万**円 私立文系約**４２９万**円 私立理系約**５８８万**円	私立2年制約**２２９万**円	2年制約**２４３万**円
その他	図書館などの**設備や留学制度が充実**している。クラブ、サークルも多い。	**少人数教育により、きめ細やかな教育・指導**を受けられる。担任制度もある。	志望業界の人脈を作りやすいが、入学後に「向いていない」と感じると**進路変更が難しい**。

目的も持たずに“入れるから”という安易な理由で大学を選ばないこと。**自主的に学ぶ姿勢がないと何も身につかない。**

短大進学者は年々減っている。なぜその短大を選ぶのか？**その短大でしかできないこと**をよく調べること。

志望する専門学校の、**卒業生の進路先を調べておく**ことが必要！本当に自分のやりたい仕事につけるのか確認すること。

境高進路部はみなさんが進路を実現できるように全力でサポートします！困ったことがあれば進路室へ！！